

2024 年 3 月 13 日
東京海上ホールディングス株式会社

CDP による 2023 年「サプライヤーエンゲージメント評価」において最高評価を獲得

東京海上ホールディングス株式会社(取締役社長 グループ CEO 小宮 暁、以下「当社」)は、国際的な環境非営利団体 CDP^{※1} による 2023 年「サプライヤーエンゲージメント評価(SER)」において、最高評価である「サプライヤーエンゲージメント・リーダー」に選定されましたのでお知らせします。

サプライヤーエンゲージメント評価(SER)とは、企業が気候変動課題に対してどのように効果的にサプライヤーと協働しているかを評価するもので、最高評価を獲得した企業が「サプライヤーエンゲージメント・リーダー」に選定されます。

2023 年度は、評価の対象となった企業の上位 2%(世界で 458 社、うち日本企業 109 社)が、サプライヤーエンゲージメント・リーダーに選定されています。当社は、サプライヤーと協働した排出量削減の取り組み等が高く評価され、すべての項目^{※2}において最高評価を得ました。

当社は、気候変動対策をグローバルな重要課題として位置づけ、早くから取り組みを推進してきました。

2023 年 9 月には 2050 年までに CO2 排出量実質ゼロを実現するため、「脱炭素社会の実現に向けたお客様との対話(エンゲージメント)の 2030 年中間目標設定」^{※3} を公表し、お客様の脱炭素移行を支援しています。

今後も、ステークホルダーの皆様とともにバリューチェーン全体を通じた気候変動対策を推進し、安心・安全でサステナブルな未来づくりに貢献してまいります。



(※1) 環境情報開示のためのシステムを有する国際的な環境非営利団体(本部ロンドン)。企業や自治体に気候変動対策等に関する情報開示を求め、気候変動対策等を促すことを主たる活動としている。(www.cdp.net)

(※2) CDP 気候変動質問書における「ガバナンス」・「目標」・「スコープ 3 排出量」・「サプライヤーとのエンゲージメント」
「気候変動スコア」

(※3) 2023 年 9 月 29 日「脱炭素社会の実現に向けた 2030 に向けた 2030 年中間目標の設定について」
(https://www.tokiomarinehd.com/release_topics/release/2023/l6guv3000000hwi3-att/20230929_engagement_j.pdf)

(ご参考) 東京海上グループのサステナビリティの取り組み<サステナビリティレポート>

www.tokiomarinehd.com/sustainability/pdf/sustainability_web_2023.pdf

東京海上グループの脱炭素社会に向けた取り組み<TCFD レポート>

www.tokiomarinehd.com/sustainability/pdf/sustainability_tcfreport_2023.pdf

以 上